

平成28年度日光市指定管理施設の評価結果

《評価結果表について》

○この表は、施設所管課が指定管理者の管理運営業務を評価した結果について取りまとめたものです。

○当該評価は、指定管理者による管理運営業務について『提案書や事業計画書に定めた目標値や事業内容に対してどの程度達成できたか』や『協定書管理等に基づき適正かつ確実に実施されたか』を事業報告書や実地調査結果等を踏まえ、評価しています。

○総合評価ランクは、各評価項目ごとの採点の合計得点に基づき、次の5段階で評価しています。また、各評価項目欄中（ ）内の点数は、満点の場合を表示しており、この点数は、施設分類ごとに配点が異なります。

評価の目安	総合評価ランク	内容
↑	良い	A
		B
	普通	C
		D
↓	悪い	E

地域等	施設名称	指定管理者名	指定期間	総合評価		担当部課名 (H29.4.1現在)
				ランク	総 評	
	温泉保養センター「かたくりの湯」	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	28.4.1～ 33.3.31	C	【総評】 施設の管理は適正に行われている。利用者アンケートについては利用者数からすると回収数が少ないため、もっと広く意見を徴収しサービスを向上させることにより、利用料金収入の確保を図り、指定管理料を削減していく必要がある。市外利用者が減少傾向にあるが、アンケートの回答の33%が新規利用者であるため、その新規利用者が継続利用するような取組に努めてもらいたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 もともと市民利用率、特に65歳以上の利用率が高い施設であるが、利用料の高い市外利用者を取り込むことにより収入の確保が図られることから、市外居住者の利用促進や新規利用者の誘客に視点を置いた取組の検討を指導する。また、自主事業の実施にあたっては、利用料金以外の収入を確保できるような取組の検討を指導する。	観光部 観光交流課
	生きがいセンター	公益社団法人 日光市シルバー人材センター	26.4.1～ 31.3.31	C	【総評】 定年延長や再雇用など、60歳以上の方の就労機会の増加により、シルバー人材センター会員数が伸び悩んでいるが、新規事業の開拓や広報活動などを通じて会員数の増加に努めている。また、建築後22年経過する施設のため、建物、機械設備の劣化が出てきているがその都度修繕を行い、機械設備の保守点検を実施するなど維持管理についても適正に行われている。 【より良い施設運営に向けての方策】 シルバー人材センター会員数の増だけでなく施設利用者の増加も必要である。高齢者のニーズ把握に努めるとともに、事業の周知、普及を図り、高齢者の生きがい対策、地域の高齢者のふれあいの場となるような活動を進めるよう支援する。	健康福祉部 高齢福祉課
	今市宿市緑ひろば	一般社団法人 日光市観光協会	26.4.1～ 31.3.31	C	【総評】 一昨年に日光街道ニコニコ本陣が開設してから、イベント等利用者が減少傾向にある。また、近隣に歴史民俗資料館・二宮尊徳記念館が開設された。市緑ひろば独自に利用者の増加を目指すよりも、これらの施設と連携した取組による利用促進に努めてもらいたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 近隣施設と相乗効果が図れるような取組の検討や、ニコニコ本陣に向うための施設駐車場利用者や大型観光バス利用者を取り込むような方策の検討を指導する。また、今後の施設運営にあたっては機能の見直しが必要となるため、施設利用者の利用目的の傾向から捉えたサービスを提供できる施設運営を指導する。	観光部 観光交流課
	農村環境改善センター・大室ダム	日光市土地改良区	26.4.1～ 31.3.31	C	【総評】 (改善センター) 再利用を希望する団体等も多いため満足度は得られていると思われるが、利用者数が減少している。利用者の満足度をより高めるための取り組みが必要と考えられる。 (大室ダム) 施設の維持管理については昨年同様苦情も少なく利用者の満足度は高いと思われるが、動物防除ネットの設置数は不十分だと思われる。また前山のハイキングコースの柵など老朽化している箇所が見られる。 ダムは農業用ため池として重要な役割を担う施設であるため、施設機能保全のための管理体制強化に努めていただきたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 (改善センター) ・アンケート調査等を実施することで、利用者の満足度、要望等をより明確化し、満足度、安全性等の向上を図る。 ・施設器具を増やしたので、そのことを周知し、利用者の増加を図る。 (大室ダム) ・既設の動物防除ネットの維持管理を徹底し、増設も含めて対応を検討する。 ・前山のハイキングコースの柵については、修繕することも含めて対応を検討する。	産業環境部 農林課

地域等	施設名称	指定管理者名	指定期間	総合評価		担当部課名 (H29. 4. 1現在)
				総合評価 ランク	総 評	
	都市公園 ①今市中央公園 ②平ヶ崎公園 ③ひばり公園 ④あきの空公園 ⑤杉の木公園 ⑥春日町公園 ⑦原町公園 ⑧大条杉並木観賞公園 ⑨轟工業団地第一公園 ⑩轟工業団地第二公園 ⑪轟工業団地緑地 ⑫大谷川グリーンパーク ⑬杉並木公園 ⑭おおりの公園 ⑮かたくりの湯公園 ⑯森友ポケットパーク ⑰住吉町ポケットパーク ⑱市役所入りロポケットパーク ⑲あかまり公園 ⑳土橋公園 ㉑地蔵下公園 ㉒小百川桜公園	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	28. 4. 1～ 33. 3. 31	C	【総評】 ・公園管理を適切に行い、公園の利用に際して市民が安心して公園を利用できるよう安全確保を図っている。 ・点検業務の正確性・回数についても評価できる。 ・職員の配置に関しても普通救急講習修了者（AED取扱）を配置するなど危機管理取組にも評価できる。 【より良い施設運営に向けての方策】 利用者アンケートを実施し、利用者の要望収集を図る。また毎週一回の遊具点検の実施を図る。	建設部 維持管理課
	運動公園 ①今市運動公園 ②丸山公園 ③落合運動公園 ④豊岡運動公園 ⑤塩野室運動公園	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	28. 4. 1～ 33. 3. 31	C	【総評】 おおむね適正な管理運営が行われているが、前年度の目標値と比較して目標値が低くなっているところが多々あるので、高い目標を持って今後のより良い、運営を行って欲しい。 【より良い施設運営に向けての方策】 施設の老朽化少が進んでいる中で、定期的な点検、修繕を実施してもらうとともに、イベント等の実施により、利用率の増加に努める。	教育委員会 スポーツ振興課
	杉並木公園ギャラリー	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	28. 4. 1～ 33. 3. 31	C	【総評】 利用者の皆様が安心して使用するため施設清掃を徹底し、日常の施設管理及びお客様に接する職員の質の向上を目指した管理運営が行われていた。また、今市中学校美術部に施設利用を働きかけ、「第1回美術部展」を開催する等、利用者の新規開拓に努めたといえる。 【より良い施設運営に向けての方策】 来場者数増加のため、催事内容の周知や広報を充実させると同時に、利用者数増加のため、新規団体に働きかけ、利用促進を図る取り組みを行う。 また、アンケート結果や利用者からの直接の声を踏まえ、利用しやすい施設運営とサービスの向上を図る。	教育委員会 生涯学習課
	今市文化会館	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	28. 4. 1～ 33. 3. 31	C	【総評】 ・類似の機能を有する施設「日光街道ニコニコ本陣」の開所等もあり、入場者数は目標値を下回る数値となった。その影響等により、経費の低減及び収入の増加については、いずれの指標においても目標を達成することができなという結果となった。 ・入場者数及び文化事業実施回数については、目標値は達成できなかったものの、前年度の数値を上回ったという点は一部評価できる。 ・適正な施設の運営管理がなされており、利用者からも高い評価（満足度）をいただいている。 【より良い施設運営に向けての方策】 ・大規模ホールとしての機能・特性を活かし、中規模ホールを持つ「日光街道ニコニコ本陣」との差別化を図るPRを実施するなど、新たな利用者を増やす取り組みを行うとともに、主催事業においても魅力ある事業の実施及び効果的な宣伝を展開して収入の確保・増加に努める。 ・施設設備の保守管理や修繕を計画的に実施するなど、経費の効果的・効率的な執行に努め経費節減を図る。	教育委員会 中央公民館
	今市図書館 日光図書館 藤原図書館	株式会社 図書館流通センター・株式会社 近代ビル管理社共同事業体	24. 4. 1～ 29. 3. 31	B	【総評】 ・日光図書館の移転と業務規模縮小の影響と図書館システム更新入替による休館で閉館日が減少したが、一人あたりの貸出数は目標より増加した。閉館日減でありながら貸出増加への各館の努力を評価したい。各図書館事業については、継続事業に加え、各図書館の利用者の実情・時事を考慮した特色ある事業展開を今後も期待したい。 ・図書館3館が連携し、日光市全体の情報の共有や各種研修に参加することで、利用者からの調査や質問に対応できる体制と人材育成を今後も維持強化して頂きたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 ・図書館各館の資料選定については、一過的な図書購入に偏らないよう蔵書構成を確認しながら図書館で収集すべき資料の分析、各地域の歴史、地域性を踏まえた郷土資料の収集・整理・保管に努める。 ・利用者からの苦情・要望については内容・問題点・改善点を精査し、職員間で情報や意識を共有し、常に質の高いサービスの提供に努める。 ・施設管理、危機管理体制・個人情報保護については、研修に参加することで職員全体で危機管理意識を徹底する。	教育委員会 生涯学習課

地域等		施設名称	指定管理者名	指定期間	総合評価		担当部課名 (H29. 4. 1現在)
					総合評価 ランク	総 評	
今市地域		斎場 日光聖苑	日光聖苑運営共同事業体 静祈	25. 4. 1～ 30. 3. 31	B	【総評】 年間を通じて利用者からの苦情も少なく、また火葬炉等設備のトラブルもなく運営ができていたことは大いに評価できる。 目標運営費でも、通夜式等の件数に比例する形だが、経費の低減に至る結果となり、年間指定管理料を適正かつ効率的に運用している結果であると言える。 【より良い施設運営に向けての方策】 施設の設置目的が、人生の終焉を見届ける場所であるので、利用者の心情に配慮した対応を心がけ、事務的な言動にならないように注意し、年間の苦情件数をゼロを目指す。	市民生活部 生活安全課
		日光ブランド情報発信センター	上都賀農業協同組合	27. 4. 1～ 30. 3. 31	C	【総評】 ・利用者向け事業を行い、利用者増加につながるよう努力はしているものの年間利用者数は目標値には達しなかった。 ・年間販売額及び、収支についてはほぼ目標に達した。コスト面では目標達成はならなかったが、対前年比では改善している。 ・その他の項目についてはおおむね目標を達成しているといえる。 【より良い施設運営に向けての方策】 ・集客がある日、時間帯における集荷量の更なる増加をはかり、消費者ニーズに応えられる努力を行う。 ・効果的に自主事業を行い、利用者の増加につながるよう助言する。 ・支出についての検討を行い、コストの削減を達成できるよう助言する。	産業環境部 農林課
		中心市街地集客拠点施設 (にこにこ本陣)	株式会社セレスポ	27. 4. 1～ 30. 3. 31	B	【総評】 利用者数増加対策として、コンサートや企画展等の自主事業や観光バス受入対策、営業・広報活動を積極的に実施し利用者数の増加に努めた。また、電力供給会社の変更による光熱水費、消費電力削減など、積極的な経費節減の面においても評価できる。 しかしながら、利用者数増加のための積極的な取り組みは評価できるが、初年度に比べると利用者数が減少となっているため、利用者のニーズや意見を積極的に調査・検討し、利用者数の増加に繋がる効果的な取り組みの積極的な実施に努めていただきたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 ・日本のこころのうたミュージアム・船村徹記念館は、利用者数の増加のため、コンサート、企画展など効果的な集客の図れる事業を実施する。 ・多目的ホールについては、各種団体や企業への施設ＰＲを行い、稼働率向上に努める。 ・商業施設や周辺関係団体と積極的に連携し、中心市街地全体の集客の向上に努める。 ・日光観光のゲートタウンに位置する道の駅であるため、さらなる満足度の向上に努める。	産業環境部 商工課
日光地域		奥日光診療所	公益社団法人 地域医療振興協会	24. 4. 1～ 29. 3. 31	B	【総評】 診療所の運営に必要な有資格者等を配置し、診療日数を確保して診療にあたるなど、協定書・仕様書等に基づき適正に実施されており、日光市奥日光診療所条例に規定されている診療所の責務を果たしている。また、へき地医療拠点病院である日光市民病院の協力を得て、安定した診療所運営に努めている。 【より良い施設運営に向けての方策】 奥日光地区の地域特性に沿った指定管理を行い、地元住民や観光客への診療体制について、充実を図る。	健康福祉部 健康課
		温泉保養センター ①日光温泉 ②やしの湯	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	28. 4. 1～ 33. 3. 31	C	【総評】 やしおの湯露天風呂の営業時間短縮と改修工事による露天風呂休止が数週間あったにも関わらず、各種自主事業などの積極の実施によって、利用者から高い満足度が得られており、利用者数が全体として微増となった。施設の管理についても、常に衛生管理や安全対策に目を向け、積極的に不具合箇所を修繕するなど、利用者の利便性の向上に努めている。 【より良い施設運営に向けての方策】 工夫したい点に挙げている同一管理者により指定管理を行っている「かたくりの湯」との相互利用(共通回数券、ポイントカード)、地元の社会福祉支援や就労支援などによって利用促進に努める。 さらなる自主事業の実施や幅広い広報活動などを行い、より多くの集客(特に市外からの利用者)獲得に向け、努力する。	観光部 日光観光課
		日光総合会館 市営駐車場 ①西参道第1駐車場 ②西参道第2駐車場 ③西参道第3駐車場 ④日光駅前駐車場	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	28. 4. 1～ 33. 3. 31	B	【総評】 利用者のニーズに応じてサービス提供や臨機応変な対応と併せて、安全を考慮した管理運営を行うことでサービス向上に努めた。また、駐車場の清掃や美化を常に心がけ、また観光案内や近辺観光地への誘導案内業務も実施することで、観光客へのおもてなしや日光のイメージアップにも貢献している。苦情・要望に対しては、トラブル回避のため、今後も臨機応変な対応を望みたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 清掃や除草等の環境美化を実施し、増加を図る。また、引き続き営業や広報活動で施設を多方面にＰＲによる利用率向上を図ったり、スムーズな誘導で回転率を向上させたりする等、収入増加を図る。	観光部 日光観光課
		神橋駐車場	公益財団法人 小杉放電記念日光美術館	21. 4. 1～ 31. 3. 31	C	【総評】 駐車台数は前年度を上回ったが、有料台数は微減し、無料台数が増加したため増収には繋がらなかった。観光客者へは観光案内やパンフレット配布を行うことでサービス向上を図り、周辺地域のイベントの際には駐車場を無料開放して活性化に貢献した。また閑散期に無料開放により経費節減を実施し、利用料金収入の範囲内で、支出を最小限に抑えた効率的な駐車場の管理運営を行うことができた。 【より良い施設運営に向けての方策】 今後も柔軟な管理運営に努め、収入支出のバランスを調整しながら運営を行う。ホームページ等での広報活動を引き続き実施し、利用者増加を図る。また利用者満足度調査を行うことで、利用者ニーズの把握に努める。	観光部 日光観光課

地域等	施設名称	指定管理者名	指定期間	総合評価		担当部課名 (H29. 4. 1現在)
				総合評価 ランク	総 評	
日光 地 域	小杉放菴記念日光美術館	公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館	21. 4. 1～ 31. 3. 31	B	【総評】 美術館では、様々な事業を展開しており、これらは利用者に概ね好評である。この3年は入館者数の増加に伴い、収入も増えている傾向にあり、少しずつではあるが安定した経営を続けている。 【より良い施設運営に向けての方策】 今後とも、専門性や芸術性を堅持しつつ、市民のニーズにあった企画を実施する。さらなるPRに努め入館者の増加を図る。また、美術に関する教育普及事業として、児童生徒の興味関心を高める教育普及事業が提供できるよう、内容の充実を図る。	教育委員会 生涯学習課
	日光福祉保健センター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	28. 4. 1～ 33. 3. 31	C	【総評】 地域福祉推進の活動拠点として各種事業の実施やサークル、ボランティア活動の場を提供といった目的を果たしている。今後も適正に運営が図れるよう支援する。 【より良い施設運営に向けての方策】 利用頻度の低い施設の利用回数向上のため、ニーズを把握するとともに事業の周知、利用サークル等との連携等により、利用者増加を図るよう支援する。	健康福祉部 高齢福祉課
	小来川デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	25. 4. 1～ 30. 3. 31	C	【総評】 地域包括ケアの一翼を担う事業所として、地域ニーズの把握や事業の周知、送迎可能区域の利用者拡充など、利用者を増やすための運営・維持管理の改善が必要である。 利用者満足度について、目標も超えており、小規模で目が行き届く事業所ならではの取り組みが実を結んでおり、今後もこの状態を継続できるよう努めてほしい。経費削減に努め、支出を抑えるなど適正に運営されている。 【より良い施設運営に向けての方策】 介護サービス利用につながないケースの解消や、デイサービスに抵抗があるという声に対応するため、見学会やお試し体験などによる周知や交流を行うことで、新規利用者の拡充に努める。 アンケート調査を継続し、利用者や利用者家族のニーズを把握、分析していく。また、地域住民と信頼関係をつくり、地域に開かれたデイサービスセンターとなるよう、積極的な交流活動を行う。	健康福祉部 高齢福祉課
	小倉山森林公園	日光彫り体験教室運営協議会	24. 4. 1～ 29. 3. 31	C	【総評】 体験者からのアンケート調査の満足度も高く、観光施設としての一定の役割は果たしている。しかし、体験者数が年間30,000人を割る等の課題もあり、このまま減少していかないための対策が必要である。 施設の管理運営に関しては、現場の状況に応じて、森林公園の適正な管理、安全対策等が必要となる。 【より良い施設運営に向けての方策】 体験者数の減少に関しては、学校団体からの再利用だけでなく、市内や県内の新規顧客を増やすために、広報活動等も積極的に行う。さらには、高齢化している講師も多いため、体験者数の維持のためには講師の育成も検討する。	産業環境部 商工課
	交流促進センター	日光温泉旅館協同組合	24. 4. 1～ 29. 3. 31	C	【総評】 日光温泉旅館協同組合に加入する旅館ホテル等と連携し、宿泊のあつせん等円滑に運営が行われており、利用者からも高い満足度を得られていることは高く評価できる。また、節電等の経費節減のために高い意識をもって行っている。その一方で、宿泊客が前年度に比べて大きく減少してしまった。既利用者のさらなる新規利用者の獲得に向け、さらなる工夫をもって、企画・立案をお願いしたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 様々な媒体を通じた広報宣伝や自主事業の実施によって、集客増を図るような工夫を検討する。また、冬期に利用者が落ち込むことから、冬期の各種イベントに連動して広報活動を行うなど、冬期の誘客に努める。また、施設管理の観点からは、館内の維持管理はもちろん大切であるが、夏期に周辺の草刈をこまめに行うなど、外観上の美化向上を図る。	観光部 日光観光課
	日光郷土センター	社団法人 日光観光協会	27. 4. 1～ 32. 3. 31	B	【総評】 地域イベント開催の他、当使節は、日本政府観光局の外国人観光案内所（カテゴリー2）に認定されている案内所を有している事から、国内外の多くの観光客が訪れるので、最新の観光情報などを提供し、さらに多くの方に利用していただけるよう努めてほしい。 【より良い施設運営に向けての方策】 自主事業等を企画し宣伝活動を行い、施設利用の増加に繋げる。	観光部 日光観光課
	中宮祠介護サービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	26. 4. 1～ 31. 3. 31	B	【総評】 周知活動を通じて、また訪問介護については利用者拡充のため日光地域への事業展開を行うなど、利用者の増加に努めている。経費削減に努め、支出を抑えるなど適正に運営されている。 【より良い施設運営に向けての方策】 アンケート調査を継続し、利用者や利用者家族のニーズを把握、分析していく。今後も、地域住民と信頼関係をつくり、地域に開かれた事業所となるよう、積極的な交流活動を行う。	健康福祉部 高齢福祉課

地域等	施設名称	指定管理者名	指定期間	総合評価		担当部課名 (H29. 4. 1現在)
				総合評価 ランク	総 評	
	日光運動公園 日光体育館 細尾ドームリンク	財団法人 日光市公共施設振興公社	24. 4. 1～ 29. 3. 31	B	【総評】 運動公園の中でゴルフ場は、芝等の維持管理など職員の経験と努力により施設の状況が左右される面が多々あり、指定管理者の技量が重要と考える。 【より良い施設運営に向けての方策】 安全対策、危機管理体制などととも公園内にある樹木なども注意を払ってより施設の管理に努める。	教育委員会 日光公民館
	日光霧降高原キスゲ平園地	一般財団法人 自然公園財団	28. 4. 1～ 33. 3. 31	B	【総評】 管理面では、自然環境保護を専門とする職員や気象予報士を配置している。 また、鹿による在来植物等の被害を防ぐため、カメラの設置や新芽に網をかけて保護する工夫を行い、適正な公園管理が図られていいか、地域団体と連携してコンサート等のイベントを開催し、積極的に霧降をPRすることができた。 【より良い施設運営に向けての方策】 新規利用者と及びリピーターの増加を図る取り組みを行い、霧降地域のみならず日光市全体の観光振興に寄与する。 また、冬期間の誘客は難しいと思うが、事業の実施やイベントの開催を実施する。	観光部 日光観光課
	霧降スケートセンター	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	26. 4. 1～ 31. 3. 31	C	【総評】 施設、設備機器の老朽化があるなか、職員の知識と経験等により施設を維持管理している。 【より良い施設運営に向けての方策】 有料利用者を増やす方策を実施する。	教育委員会 日光公民館
藤 原 地 域	三依診療所	学校法人獨協学園 獨協医科大学日光医療センター	24. 4. 1～ 29. 3. 31	B	【総評】 診療所の運営に必要な有資格者等を配置し、地元自治会との連携を図りながら、協定書・仕様書等に基づき適正に診療等を行っており、条例に規定されている診療所の責務を果たしている。また、へき地区療拠点病院である獨協医科大学日光医療センターの協力を得て、安定した診療所運営に努めている。 【より良い施設運営に向けての方策】 規定の診療日数を確保し、三依地区の地域特性に沿ったへき地診療の確保に努める。	健康福祉部 健康課
	藤原福祉センター ふじの郷	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	26. 4. 1～ 31. 3. 31	C	【総評】 デイサービス廃止に伴い利用者の著しい減少があった。地域ニーズの把握や福祉関連団体への利用周知など施設利用者を増やすための運営・維持管理の改善が必要である。 【より良い施設運営に向けての方策】 地域福祉の拠点として、地域の方々に施設を利用してもらうため、施設の有効利用、利用者のニーズ把握と満足度向上、事業の周知に必要な支援をする。	健康福祉部 高齢福祉課
	みよりふるさと体験村（みよりふるさと体験村センター・キャンプ場）	中三依自治会	26. 4. 1～ 31. 3. 31	C	【総評】 新たな中三依温泉センターと一体となった施設運営に取り組み、当体験村のイメージアップと集客につながった。 【より良い施設運営に向けての方策】 地域住民も利用できることを、自治会を通じて積極的にPRする。	観光部 藤原観光課
	川治温泉薬師の湯	一般社団法人 川治薬師の湯管理協会	24. 4. 1～ 29. 3. 31	C	【総評】 情報の発信やPRを行い、集客のために努力した。 【より良い施設運営に向けての方策】 利用客のニーズに応える求める施設にするため、アンケートを実施する。	観光部 藤原観光課
	鬼怒川・川治温泉観光情報センター	一般社団法人 日光市観光協会	26. 4. 1～ 31. 3. 31	C	【総評】 鬼怒川温泉の玄関口であるため、来訪者に親切丁寧な接客業務を行った。また、最新情報を発信することにより、来訪者に必要な情報を提供できた。経費削減についても、前年度並みに低減できたことに努力したことがうかがえる。 【より良い施設運営に向けての方策】 外国人観光客が増加しているため、外国語（特にアジア圏）のインフォメーション機能の充実を図る。	観光部 藤原観光課
	上三依水生植物園	有限会社 山加園	28. 4. 1～ 33. 3. 31	C	【総評】 好感もてる施設へとバリューアップをすることができた。気候に変動される施設ではあるが、利用者目線での企業努力がうかがえる。 【より良い施設運営に向けての方策】 今までも情報発信をしているが、気候変動に対する植物への管理を適切にし、利用客増加を図る。	観光部 藤原観光課
足	足尾保健・高齢者生活福祉センター（銅やまなみ館）	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	27. 4. 1～ 32. 3. 31	C	【総評】 平成27年度末に通所介護事業を廃止したことによる利用率低下は想定されていた。平成28年度末からは、銅やまなみ館を会場として、地域住民が主体となり高齢者の居場所づくりに着手し、管理者としても運営を支援している。 高齢者の居場所を含め、引き続き地域ニーズを踏まえた有効利活用を図る必要がある。 【より良い施設運営に向けての方策】 通所介護事業廃止によりフリーールームとなった場所の利用促進のため施設修繕を含め必要な支援を行う。	健康福祉部 高齢福祉課

地域等		施設名称	指定管理者名	指定期間	総合評価		担当部課名 (H29. 4. 1現在)
					総合評価 ランク	総 評	
尾 地 域		足尾環境学習センター	特定非営利活動法人 足尾に緑を育てる会	27. 4. 1～ 32. 3. 31	C	【総評】 ・入館者は一時期よりは、回復傾向にあるが毎年減少しており改善策として各種イベント等に参加して施設等のPRを行っている。 ・今後も設置目的の「銅山の歴史を紹介するとともに、自然の大切さと環境問題を学べる施設」として、入館者増のため更なる工夫を期待する。 【より良い施設運営に向けての方策】 施設全体を見て老朽化が目立つが、平成27年度には空調の一部を修繕し今年度も残りの空調設備の修繕を施した。次年度に向けて音響設備等の改修を予定しており施設のイメージアップとともに環境をテーマとした施設としてさらに各団体へのPRを図る。	観光部 足尾観光課
栗 山 地 域		土呂部キャンプ場	土呂部キャンプ場管理組合	28. 4. 1～ 33. 3. 31	D	【総評】 利用者が22. 15%減少し、一人当たりのコストが67. 84%上昇した。 アンケートも未実施である。 【より良い施設運営に向けての方策】 栗山地域内の施設などと協調するなどして、新たな自主事業を開催したり、アンケートにより利用者の要望に応えるなどして、利用者の満足度を上げ、さらなる利用者の増加に努める。	観光部 栗山観光課
		上栗山オートキャンプ場	上栗山開運の里管理組合	28. 4. 1～ 33. 3. 31	C	【総評】 利用者が18. 3%減少したが、経費が2. 53%の減少にとどまったために、一人あたりの経費が24. 16%上昇した。 さらに、アンケートは未実施である。 【より良い施設運営に向けての方策】 アンケートの実施により、利用者の要望に応えるなど新たな事業の実施により、利用者の満足度を上げ、さらなる利用者の増加に努める。	観光部 栗山観光課
		平家の里	平家の里湯西川協同組合	28. 4. 1～ 33. 3. 31	B	【総評】 新たな自主事業を収入と利用者の増加に繋げるよう努めており、概ね適正な運営管理がなされている。しかし、平家の里も開園から30年を経過し、補修費の増加も見込まれるが、利用者の安全確保をしながら、さらなる経費の削減に努めていただきたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 開園から30年を経過し、施設の老朽化などにより新鮮さが乏しく、利用者も減少している。日光市では施設の改修計画をしているので、自主事業のさらなる充実や展示の見直しを行い、さらなる利用者の増加に努める。	観光部 栗山観光課
		川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	川俣湖温泉ふれあいの里管理組合	28. 4. 1～ 33. 3. 31	C	【総評】 地元のイベント等との協同や、新たな宣伝広告などにより、より一層の利用者の増加に努め、より健全な運営をしてみたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 観光客の利用が主なため、災害等に左右されやすいため、市内近隣住民等の利用やリピーターの確保をするなど、誘客対策が必要。	観光部 栗山観光課
		上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	上栗山開運の里管理組合	28. 4. 1～ 33. 3. 31	C	【総評】 開運の湯としては、依然として赤字決算のため、光熱水費の見直しや利用者の増加をはかり、健全な管理運営に努めてもらいたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 自主事業の実施や、上栗山オートキャンプ場との提携などにより、さらなる誘客に努める。	観光部 栗山観光課
		湯の郷湯西川観光センター	株式会社 湯の郷	27. 4. 1～ 32. 3. 31	C	【総評】 概ね適正に管理されているが、今後も安全対策をより充実させながらも管理費の見直しを引き続き行い、利用者の増加と満足度向上に努めていただきたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 新たな自主事業などにより魅力的な道の駅として利用者の増加に努め、収入の増加を行う。	観光部 栗山観光課
		自然体験交流センター 「安らぎの森 四季」	安ヶ森管理組合	28. 4. 1～ 33. 3. 31	B	【総評】 平成28年度については、概ね順調な経営状況だったが、平成27年9月の台風18号被害により、林道安ヶ森線（福島県側）が通行止めになっているため、日帰り観光客が減少している。施設的に自然体験やアウトドア（バーベキューハウス）等の利用客が多いため、日帰り観光客の減少は施設運営に厳しい状況であるが、引き続きPR等を行い、誘客につなげていただきたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 恵まれた自然環境に触れる場として、管理施設及び広大な敷地を有効活用した自然体験事業を計画し、利用客の増に努める。	地域振興部 栗山行政センター
		栗山デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	25. 4. 1～ 30. 3. 31	C	【総評】 ・地域の介護拠点として、事業の周知活動に努め、地域ニーズの把握など、利用者を増やすための運営・維持管理の改善が必要である。 ・利用者満足度について、目標も超えており、小規模で目が行き届く事業所ならではの取り組みが実を結んでおり、今後もこの状態を継続できるよう努めてほしい。 【より良い施設運営に向けての方策】 平成28年度は平成27年度に比べ利用者数が減っており、介護サービスを利用すべき状態であるもののサービス利用につながっていないケースの解消に努める。地域との交流をさらに深めるなど、地域の福祉・介護の拠点としてより高い意識を持った事業所に進歩するよう支援する。 ニーズの掘り起こし、送迎可能区域の利用者拡充など、利用者確保策を打ち出す。利用者や利用者家族についてもアンケート調査を継続し、ニーズの把握、分析を行う。	健康福祉部 高齢福祉課

地域等		施設名称	指定管理者名	指定期間	総合評価		担当部課名 (H29. 4. 1現在)
					総合評価 ランク	総 評	
栗山地域		西川デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	25. 4. 1～ 30. 3. 31	B	【総評】 ・地域との連携や協力体制を強化し利用者の拡充につなげた努力が見受けられる。 ・経費削減に努め、支出を抑えるなど適正に運営されている。 【より良い施設運営に向けての方策】 アンケート調査を継続し、利用者や利用者家族のニーズを把握、分析していく必要がある。さらに、地域との交流をさらに深めるなど、地域住民と信頼関係をつくり、地域に開かれた事業所となるよう、積極的な交流活動を行う。	健康福祉部 高齢福祉課
		湯西川水の郷	株式会社 湯西川水の郷	27. 4. 1～ 30. 3. 31	C	【総評】 春～夏期間の利用者は減少しているが、課題であった秋～冬期間の利用者が増加している。このことにより収入が増加している反面、経費も増加している。 【より良い施設運営に向けての方策】 リピーターと新たな利用者の確保のために、アンケートの実施やホームページでの意見収集を行い、利用者の満足度向上に努める。また、経費の見直しにより、より健全な経営に努める。	観光部 栗山観光課
		西川運動場	株式会社 湯の郷、湯西川温泉旅館組合事業共同体	28. 4. 1～ 33. 3. 31	B	【総評】 前年度、関東・東北豪雨の影響で減少した利用者数は、新たに開催した女子サッカー大会などの効果により、11,555人（4,131人増加）となり、平成26年度を上回るまでに回復した。また、公式ホームページを開設し、旬の情報を発信することで集客力の強化に努めた。しかし、利用者アンケートにおいては満足度が低下していることから、結果を精査し速やかに改善することで満足度の向上に努め、引き続き利用者数の増加を図る必要がある。 【より良い施設運営に向けての方策】 ・既存のサッカー大会の開催回数の増加や、魅力あるイベントの開催により利用者数の増加を図る。 ・クロスカントリースキーなど雪を利用したイベントの開催により、冬期間の誘客対策及び施設の利用促進を図る。 ・チラシやポスターによるPRに加えホームページ上で旬の情報を発信するなど、利用者数の増加を図る。	教育委員会 栗山公民館